

国内クレジット認証委員会御中

## 実績確認概要書

平成 22 年 2 月 26 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	重油焚ボイラの高効率ガス焚ボイラ転換による省エネルギー事業
承認番号	JCDM-PJ0079
排出削減事業者名	西染工株式会社
排出削減共同実施事業者名	四国電力株式会社
事業実施場所	西染工株式会社 本社工場 (愛媛県今治市南大門町 4 丁目 5-1)
事業の概要	本事業は各種染色機、乾燥機等の熱源になっている重油焚ボイラ設備を高効率ガス焚ボイラに更新し、エネルギー消費量およびCO <sub>2</sub> を削減する。
排出削減量の計画	1,527 t CO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 6,108tCO <sub>2</sub> )
国内クレジット認証期間	事業開始日 2009 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

### 2. 本実績確認の対象期間

2009 年 4 月 1 日～2009 年 12 月 31 日 (第 1 回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	900tCO <sub>2</sub> (2009年4月1日～2009年12月31日)
-------	---

#### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 承認排出削減事業計画通りに、既存重油ボイラをより効率の高いボイラへ更新する事業が実施されていることを事前審査の際に確認している。</li> <li>2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間における燃料購入実績の確認や現地訪問時の視認により確認している。</li> <li>3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、工事終了確認書や関係者への質問により確認した。</li> <li>4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。</li> </ol>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) モニタリング方法については、承認事業計画に従って実施されていることを確認した。</li> <li>2) 都市ガス使用量については、担当部署責任者の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、燃料使用量の記録・保存が適切になされており、正確に算定・集計されていることを確認している。</li> <li>3) 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排出係数等が排出削減方法論（別表）及び承認排出削減事業計画通りであることを確認している。</li> <li>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</li> </ol>

	5) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。
算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	本実績確認の対象期間は、2009 年 4 月 1 日から 2009 年 12 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。

## 5. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 12.5k1 であることを確認した。